

ミツバウツギ科 ゴンズイ属

ゴンズイ (権萃)

Euscaphis japonica (Thunb.) Kanitz

自生環境

山林、林縁 など

原産地

日本在来

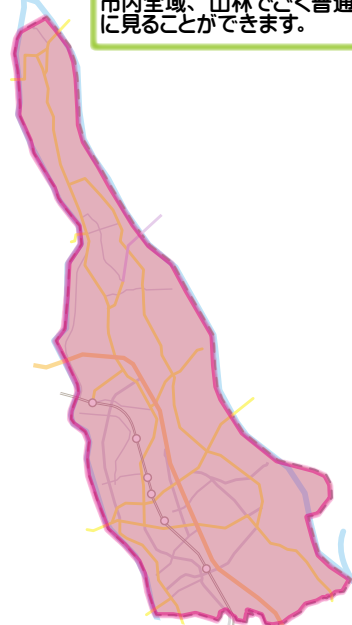
生育を脅かす要因



身近な場所に普通で、絶滅の心配はありません。ただ林縁や林道沿いを好むため、伐採の影響を受けやすい傾向があります。また、山林の開発は生育場所を奪う原因になります。

市内の分布状況

市内全域、山林でごく普通に見ることができます。



特徴

- ☆ 林の縁などに生える、樹高 3 ~ 5m ほどの落葉小高木です。日当たりを好む傾向があり、背の高い樹木が茂ってうっそうとした林内にはあまり生えません。幹はみずみずしく、特に春先は枝を切ると水が滴ってくるほどです。そのため西日本の一部ではショウベンノキとも呼ばれます。
- ☆ 初夏に、円錐形の花の穂を出します。小さな花が多数つきますが、直径 3mm ほどで薄い黄緑色であるため、あまり目立ちません。花びらとがくはかたちがほとんど同じで、それぞれ 5 枚ずつあります。
- ☆ 秋になると果実が赤く熟します。やがて果実の皮が割れて、中から黒くて光沢のあるタネが顔を出します。果皮の赤とタネの黒色のコントラストがよく目立ち、鳥さんに食べてもらえるようにアピールしています。

海水魚ゴンズイとの関係

海水魚にも、樹木と同じゴンズイと言う名前の魚がいます。両者の関連ははっきりせず、諸説があります。ひとつは、ゴンズイは体に鮮やかなしま模様が入るため、樹皮のしま模様をそれに見立てたというものです。もうひとつは、魚のゴンズイは有毒で食べられないし、木のゴンズイは材木がやわらかくて使えない…と、どちらも人の役には立たないため、これが関係しているというものです。



わぴちゃんねる 千葉県野田市の植物を動画で紹介!

<https://www.youtube.com/channel/UCJvrXBjegnWATWd-UZsNzCA>

